ファイアウォール設定について

株式会社TKC

「e-TAX電子納税」を利用するためには、ファイアウォールソフトおよびファイアウォール機器等が、 [e-TAX電子納税」の通信を許可する設定が必要です。

そのため、貴社のシステム担当者様に、以下の設定となっていることをご確認ください。

1. 「e-TAX電子納税」の動作要件(ファイアウォール設定)

貴社のネットワーク上でファイアウォール機器等が動作している場合、以下の通信宛先およびポートへの通信を許可する 設定となっていること。

宛 先	URL	ポート
国税電子申告・納税システム (e-Tax)	https://uketsuke.e-tax.nta.go.jp	443
地方税ポータルシステム (eLTAX)	https://www.portal.eltax.lta.go.jp	443
eLTAX 納付ポータルシステム	https://portal.payment.eltax.lta.go.jp	443
株式会社TKC	https://etaxlicense.tkc.co.jp	443
	https://cts.tkc.co.jp	443
	http://ctsdwnld.tkc.co.jp	80
	https://ctsdwnld.tkc.co.jp	443
	https://www.prft.tkc.co.jp/	443
	https://tkcexpress.tkc.co.jp	443
	https://www.tkc.jp	443
	https://cbc.tkc.jp	443
株式会社TKC (プログラムインストール /プログラムダウンロード / ISOダウンロード)	http://crl. *. amazontrust.com	80
	http://ocsp.*.amazontrust.com	80
	http://*.microsoft.com	80
	https://*.microsoft.com	443
	http://*.windows.com	80
	https://*.windows.com	443
	http://*.windowsupdate.com	80
	https://*.windowsupdate.com	443
	http://download.microsoft.com	80
	https://download.microsoft.com	443

※「521 通算親法人による法人税・地方法人税の一括ダイレクト納付」を利用する場合は、e-TaxHPの下記URLに記載の「認証」や「e-Taxソフト(WEB版)」の接続先の許可も必要となります。

(https://www.e-tax.nta.go.jp/toiawase/qa/yokuaru09/50.htm)

※「第六世代税理士用電子証明書」で電子署名する場合は、次のURLを許可してください。

宛 先	URL	ポート
リモート署名サーバー	https://jfcpta-rssp.hsm.toshiba.co.jp/	443
第六世代管理ツール	https://nzs6.e-probatio.com	443
第六世代管理ツール	https://www.e-probatio.com	443
(可変文言データ取得、CP/CPS 参照用)		

2. 通信を許可するプログラム

ファイル名	ファイルの場所
EtsMain.exe	(システムト゛ライフ゛):\Program Files (x86)\TKCDOTNET\ETNOZEI
EtsPKey. exe	
DownloadTkcUpdate.exe	(システムト゛ライフ゛):\Program Files (x86)\TKCDOTNET\ETNOZEI\CTS
EtsAppLauncher.exe	(システムト゛ライフ゛):\Program Files (x86)\TKCDOTNET\ETNOZEI\CTS
	(システムト゛ライフ゛):\Program Files (x86)\TKCDOTNET\ETNOZEI\CTS\Temp
TkcUpdate.exe	(OSドライブ):\Program Files (x86)\TKC\Update
BasicSetup.exe	(OS "747"):\Program Files (x86)\TKC\Update*****
TkcUpdate.exe	※フォルダ名の****部分は、システム登録状況により値が異なりま
-	- す。「1.3.45.129」のように数値と「.」の組み合わせとなりますの
TkcUpdateOdm.exe	で、Updateフォルダ内を確認してください。
DOTNETVer4DL. exe	(OSドライブ):\ProgramData\TKC\CYCDROOT\PROGRAMS\WIN\F\W4
DOTNETVer2DL. exe	(OSドライブ):\ProgramData\TKC\CYCDROOT\PROGRAMS\WIN\FW35SP
instMS14DL.exe	(OSドライブ):\ProgramData\TKC\CVCDROOT\PROGRAMS\WIN\MSEE2014
instMS22DL.exe	(OSドライブ):\ProgramData\TKC\CDROOT\PROGRAMS\WIN\MSEE2022
SQL2022-SSEI-Expr. exe	
OEClient.exe	(システムト゛ライフ゛):\Program Files (x86)\TKCDOTNET\ETNOZEI\OEClient
SystemUsageSender.exe	(システムト゛ライフ゛):\Program Files (x86)\TKCDOTNET\ETNOZEI\CBC
	(OSドライブ):\YUsers\Y<ユーザー名>\YAppData\Local\Temp\TkcSystemUsage2nd
	※<ユーザー名>はコントロールパネル>システム>システムの詳細設定
	で環境変更Tempをご確認ください。

- ※「システムドライブ」は、e-TAX電子納税をインストールしたドライブです。
- ※「OSドライブ」は、OSが登録されているドライブです。
- ※32ビットOSの場合、「Program Files (x86)」は「Program Files」となります。

3. 設定が必要なネットワーク機器およびソフトウェア

- (1) UTM(統合脅威管理)製品·機器
- (2) ファイアウォール装置、ファイアウォールソフト
- (3) プロキシサーバー
- (4) ウイルス対策ソフト、セキュリティ対策ソフト等

(ご注意)

「e-TAX電子納税」をパソコンに登録した際に、コントロールパネルーインターネットオプションの「信頼済みサイト」に、国税電子申告・納税システム(e-Tax)のURL、および地方税ポータルシステム(eLTAX)のURLが登録されます。

4. プロキシサーバーの認証方式に関する制約

地方税 e L T A X 仕様では、プロキシサーバーの認証方式に関する制約として、対応している認証方式は「BASIC 認証」「Digest 認証」「Negotiate (NTLM) 認証」とされています。

e-TAX電子納税をご利用のパソコンからインターネットに接続する経路に認証が必要なプロキシサーバーが設置されている場合は、その認証方式が「BASIC 認証」「Digest 認証」「Negotiate (NTLM) 認証」のいずれかであるかどうかを、貴社のシステム担当者の方にご確認ください。

以上